



各 位

平成24年6月14日

上場会社名 三井化学株式会社
代表者 代表取締役社長 田中 稔一
(コード番号 4183)
問い合わせ先責任者 IR・広報部長 裾分 啓士
(TEL 03-6253-2100)

**平成25年3月期業績予想の公表、
岩国大竹工場における爆発・火災事故に係る業績への影響額の見通し、
及び平成25年3月期配当予想の公表に関するお知らせ**

本年4月22日(日)午前2時15分に当社岩国大竹工場にて発生しました爆発・火災事故につきまして、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げ、ご遺族に対し心よりお悔やみ申し上げますとともに、負傷された方、家屋・設備等の被害に遭われた方、その他近隣居住・近隣企業の皆様、関係ご当局の皆様、お客様、株主の皆様をはじめとする多くの方々に多大なご迷惑をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

この事故の影響により、平成24年5月10日の平成24年3月期決算公表時に、平成25年3月期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の通期の連結業績予想、及び平成25年3月期の1株当たりの配当予想を未定としておりましたが、事故の影響及び最近の業績動向を踏まえ、平成25年3月期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の通期の連結業績予想、事故の影響額の見通し、及び平成25年3月期の1株当たりの配当予想を、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の公表について

(1) 当期の連結業績予想数値の公表

事故の影響及び最近の業績動向等を踏まえ、平成25年3月期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の通期の連結業績予想を次のとおりお知らせいたします。

平成25年3月期通期連結業績予想数値(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	1,510,000	32,000	29,000	8,000	7.99
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	1,454,024	21,564	22,884	△ 1,007	△1.01

(2) 公表の理由

平成25年3月期の通期の業績予想につきましては、平成24年5月10日の平成24年3月期決算公表時には、関係当局による調査、事故調査委員会による原因究明調査中であり、また、一部のプラントを除き操業を停止しており、このような状況下、補償、撤去及び復旧等に係る費用並びに販売を含めた事業への影響を合理的に見積もることは困難な状況であり、未定としておりました。

現時点においても、事故の影響を合理的に見積もることは困難な状況ではありますが、次項に記載の「2. (2) 今後の見通し」を踏まえ、入手可能な情報や一定の前提を置いた予測に基づき、当該事故の業績への影響額を見通しましたので、公表することといたしました。

業績予想の公表にあたっては、為替レートは通期78円/\$、国産ナフサ価格は通期52,000円/KLを前提にしております。

(注) 本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 岩国大竹工場における爆発・火災事故に係る業績への影響額の見通し

(1) 事故の概要

本年4月22日に発生しました岩国大竹工場での爆発・火災事故を受け、事故原因究明及び類似事故防止策を講じるべく、社外の学識経験者及び専門家による「事故調査委員会」を設置し、原因究明に当たっております。このほど、当該委員会での調査により、事故の起因プラントが「レゾルシンプラント」であること、その他の火災発生箇所はレゾルシンプラントの飛散物による延焼であることが判明いたしました。

(2) 今後の見通し

現在、岩国大竹工場では、この事故起因プラントであるレゾルシンプラントと、その他一部のプラントを除き、岩国地区の各プラントで安全点検を兼ねた年次定期点検に入っております。この年次定期点検等により設備の健全性及び安全性の確認を行い、関係ご当局のご了解を頂きながら、一部のプラントを除き7月中には稼動を再開したいと考えております。

なお、大竹地区では既に一部プラントが稼動しております。

(3) 業績に与える影響額の見通し

プラントの稼動時期、補償、撤去及び復旧等に係る費用、販売を含めた事業への影響及び保険収入を合理的に見積もることは困難な状況であります。現時点で入手可能な情報をもとに、一定の前提を置いて、この影響額の見通しに織り込んでおります。

この事故が、平成25年3月期の当社の連結損益に与える影響額の見通し(税引前)は、60億円程度と見ております。

なお、影響額の見通しは、本資料発表日において入手可能な情報及び将来の不確実な要因に係る仮定を前提としているため、今後変動する可能性があります。

(平成25年3月期通期連結業績への影響額の見通し)

	金額(億円)	備 考
営 業 利 益	△ 30	生産・販売の減少及び代替品の調達による損失等
特 別 損 益	△ 30	補償、撤去及び復旧等に係る費用、事故に起因するプラント停止に伴う固定費及び保険収入等
合 計	△ 60	

3. 配当予想の公表について

(1) 当期の配当予想の公表

平成24年5月10日の平成24年3月期決算公表時に未定としておりました平成25年3月期の1株当たり配当予想を次のとおりお知らせいたします。

平成25年3月期配当予想

	年間配当額				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	3.00	—	3.00	6.00
当期実績					
前期実績 (平成24年3月期)	—	3.00	—	3.00	6.00

(2) 公表の理由

平成25年3月期の1株当たり配当予想につきましては、当期業績予想の公表に合わせて、公表することとしました。

以 上

(参 考)

平成25年3月期 連結業績予想概要

平成24年 6月14日

三井化学株式会社

(単位：億円)

1. 損益状況

	平成24年 3月期 通期	平成25年 3月期 業績予想 通期	増 減
売 上 高	14,540	15,100	560
営 業 利 益	216	320	104
経 常 利 益	229	290	61
当 期 純 利 益	△ 10	80	90

2. セグメント別 売上高・営業利益

・売上高 (対前期) (単位：億円)

	平成24年 3月期 通期	平成25年 3月期 業績予想 通期	増 減
石 化	4,594	4,700	106
基礎化学品	4,729	4,820	91
ウレタン	1,273	1,470	197
機能樹脂	1,336	1,400	64
機能化学品	1,484	1,550	66
フィルム・シート	796	810	14
そ の 他	328	350	22
合 計	14,540	15,100	560

・営業利益 (対前期) (単位：億円)

	平成24年 3月期 通期	平成25年 3月期 業績予想 通期	増 減
石 化	88	150	62
基礎化学品	85	△ 25	△ 110
ウレタン	△ 146	0	146
機能樹脂	82	90	8
機能化学品	116	140	24
フィルム・シート	2	△ 10	△ 12
そ の 他	4	△ 10	△ 14
全社費用等	△ 15	△ 15	-
合 計	216	320	104

※1 一部事業の帰属セグメントの変更

当社は、平成24年4月1日付で、新たな成長基盤の構築に向けた平成23年度中期経営計画の早期達成のため、組織改正を実施しており、それに伴い一部事業の帰属セグメントを変更しております。

加工品セグメントを廃止し、従来の加工品セグメントのうちペリクル事業を機能樹脂セグメント、不織布事業を機能化学品セグメント、フィルム・シート事業をフィルム・シートセグメントとしております。

なお、平成24年3月期の金額は、平成25年3月期の業績予想対比用のための概算数値であり、監査を受けておりません。

※2 減価償却方法の変更

当社グループの有形固定資産の減価償却方法は、当社・国内連結子会社は主として定率法で行っていましたが、平成25年3月期から定額法へ変更することといたしました。この変更に伴い、従来の定率法に比べて減価償却費が減少し、営業利益が約110億円増加する見込みであります。

3. 主要指標

		平成24年 3月期 通期	平成25年 3月期 業績予想 通期	増 減
研 究 開 発 費	億円	332	330	△ 2
減 価 償 却 費	億円	627	480	△ 147
設 備 投 資 額	億円	448	700	252
金 融 収 支	億円	△ 37	△ 50	△ 13
期 末 従 業 員 数	人	12,868	13,000	132
為 替 レ ー ト	円/US\$	79	78	△ 1
国 産 ナ フ サ 価 格	円/KL	54,900	52,000	△2,900

4. 連結の範囲

(単位：社)

		平成24年 3月期 通期	平成25年 3月期 業績予想 通期	増 減
連 結 子 会 社 数		70	72	2
持 分 法 適 用 会 社 数		31	32	1
合 計		101	104	3

以上